

3. 国際・地域間 交流の推進

基本方針

あらゆる分野においてグローバル化・ボーダレス化が大きく進み、地域がその個性・特性を活かした交流・活動を行うことが一層求められるようになってきました。本市は、日本を代表するまちとして、個性ある歴史・伝統・文化などを生かし、その魅力により様々な分野で国内外から多くの人、物、情報などが集まり、多彩な交流が活発に行われる国際交流都市を目指します。

また、友好・姉妹都市等との交流を推進し、交流の成果を市民全体で共有するとともに、異なる文化との交流や体験を通じて市民の多文化理解やふるさと意識を高め、地域の活

性化につなげていきます。

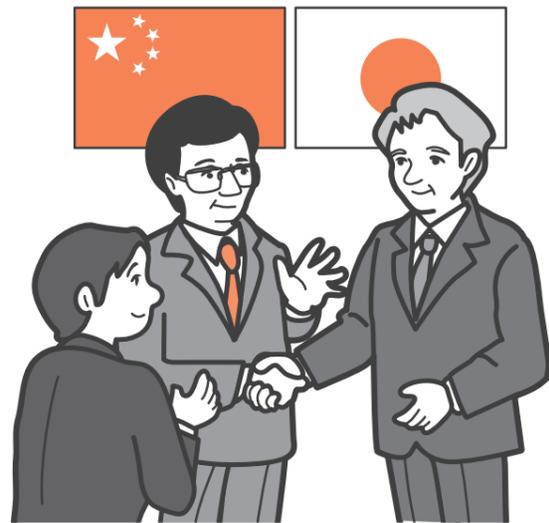
外国籍の市民が、地域の一員として受け入れられ、日常生活で不便や困難を感じることなく、安心して生活できるまちづくりを進めます。来訪客を市全体でもてなすという雰囲気を醸成します。

現状と課題

友好都市中国洛陽市、姉妹都市宮崎市へ市民訪問団を派遣し、その交流内容や魅力を広く紹介してきましたが、今後は、市民同士の交流や文化・産業をはじめとする様々な分野での交流を深めることが必要となっています。宮崎市との物産展については、売上額が年々減少の傾向にあります。市民の価値観が多様化している中で、限られた友好・姉妹都市のみと交流するという方法だけでなく、本市の歴史、文化、人物、経済等の様々な結び付きなどを基にした多様な地域間交流を推進していく必要があります。

地域においては、異なる文化や習慣を持つ人々と日常的に交流する機会が増えており、外国籍の市民が日本の生活習慣に適応し、地域の一員として生き生きと暮らすことができるよう多文化共生の市民意識を醸成する必要があります。

外国人向けの案内板を設置する等、外国人旅行者の増加・誘致に向けた取組が必要となっています。



施策指標

指標名	実績値			目標値
	H16	H17	H18	H23
国際・地域間交流の促進に対する満足度	—	—	13.8%	20.0%
海外を訪問した市民訪問団の延べ参加者数	—	—	19人	80人
宮崎市への観光訪問団への新規の応募者数	62人	64人	64人	70人以上
宮崎市で開催する観光物産展への出店数	橿原 21店 宮崎 32店	橿原 20店 宮崎 25店	橿原 19店 宮崎 23店	橿原 24店 宮崎 28店

今後の取組

1 中国洛陽市との友好都市交流

友好都市の盟約を締結した洛陽市との交流については、相互の訪問団事業を中心とする中長期の計画を立て、市民同士の交流や文化・スポーツ・産業など様々な分野での交流を推進していきます。

- 各種訪問団の派遣
- 洛陽市の魅力紹介
- 洛陽市訪問団の受入れ
- 各分野への交流拡大

2 多文化共生・外国人旅行者向け施策の推進

異なる文化を持つ住民の相互理解を深め、それぞれの良さや特長を生かすことにより、市民生活の質の向上、地域の活性化につなげていきます。

また、関係団体等とも連携しながら、案内標識等への外国語標記や外国人向け情報発信等を行い、在住外国人や外国人旅行者にとって利便性の高い環境を整えます。

- 暮らしのハンドブックの多言語化
- 案内標識等の多言語化
- 在住外国人との交流事業
- 国際交流外国人講師等派遣事業
- 日本語教室・外国語教室

3 物産展開催事業による地域間交流の推進

地場商品の需要拡大、販路拡大、両市の友好親善に寄与することを目的に、毎年宮崎市において、「橿原と宮崎の物産展」を開催していますが、近年、売上額の減少も見られることから、売れ筋商品を増やして販売力を強化し、誘客方法の改善等を図りながら、物産展を継続していきます。

- 「橿原と宮崎の物産展」の開催
- 「宮崎と橿原の物産と観光展」の開催

4 多様な地域間交流の推進

本市の歴史、文化、人物、経済等の様々な結び付きなどをきっかけにして、市民、市民団体、企業、そして行政の各分野がテーマや明確な目的を持ち、情報交換や交流を行うことができるような多様な地域間の交流を進めていきます。

- 関係都市との訪問団派遣・受入れ、交流事業

5 交流事業にかかる情報発信の充実

訪問事業・交流事業を実施するだけでは、市民の多文化理解やふるさと意識を醸成することはできません。訪問団の派遣においては、交流の模様や参加者の感想等を市広報紙やホームページ、新聞へ掲載し、あるいはパンフレットを発行するなど幅広くメディアを活用して市民に周知するとともに、シンポジウムを開催する等、市民全体が交流内容を共有できるような情報発信を進めます。

- ホームページコンテンツの作成
- 国際交流イベントの開催
- 広報紙や多様なメディアを利用したPR

6 宮崎市との姉妹都市交流の推進

姉妹都市宮崎市と相互に訪問団を派遣して、市民レベルでの交流を深めてきましたが、今後、団塊の世代に向けた魅力ある内容になるよう行程を工夫し、応募者の拡大を図ります。

また、宮崎市からの訪問団の受入れについても、橿原の魅力や宮崎市民に発信する機会として、史跡や文化を紹介し、市民交流を充実するよう検討、調整します。

- 観光訪問団の派遣
- 宮崎市からの訪問団の受入れ、訪問行程の見直し

市民等との役割分担

市民は、国際交流、地域間交流に関心を持ち、その機会を有効に活用するとともに体験等を市民の間で伝え広めることが期待されます。地域において、外国籍の市民等との触れ合いや交流を通じ、その文化を理解することが期待されます。

市観光協会等の関係団体は、行政と連携して国際交流事業、地域間交流事業を展開することが期待されます。